

### ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

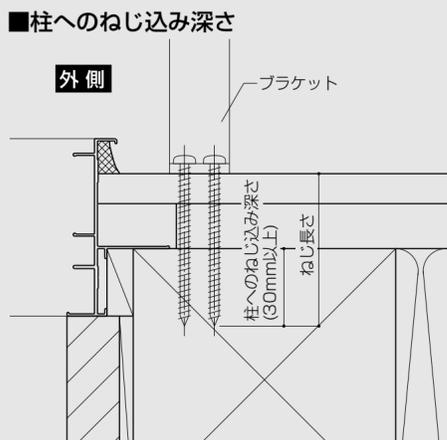
**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲警告

- 手すりの落下・転落防止のため、下記事項を厳守してください。
- ①当製品は、木造躯体専用です。ALC・RC等の躯体には使用しないでください。
- ②発泡材を使用した(充てん又は張り合わせなど)金属サイディングの外壁には取付けしないでください。
- ③ブラケットは、必ず柱に指定のねじで取付けてください。柱のない部分・端部には取付けしないでください。通気工法の場合、胴縁の位置を確認し(図面等)、そこにねじ止めしてください。
- ④柱へのねじ込み深さは、30mm以上確保してください。
- ⑤壁厚が30mm以上の場合は、厚壁用のねじを使用してください。
- ⑥強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ブラケット台座・ねじ類を指定の数量で使用ください。
- ⑦外壁のガイド穴は、柱まであけないでください。
- ⑧手すりに乗ったり、足をかけたりしないでください。又、重いものを乗せないでください。
- ⑨サイドガードは必ず取付けてください。
- ⑩下穴をあける場合は、ねじの外れ防止のため、絶対にφ5のねじにはφ3.5、φ4のねじにはφ3のドリルを使用してください。
- ⑪手すり取付け後、笠木をゆすってガタツキのないことを確認してください。

### ▲注意

- ねじ部からの漏水防止のため、躯体の下穴には必ずコーキング材を充てんしてください。



### ■部品・ねじ一覧表

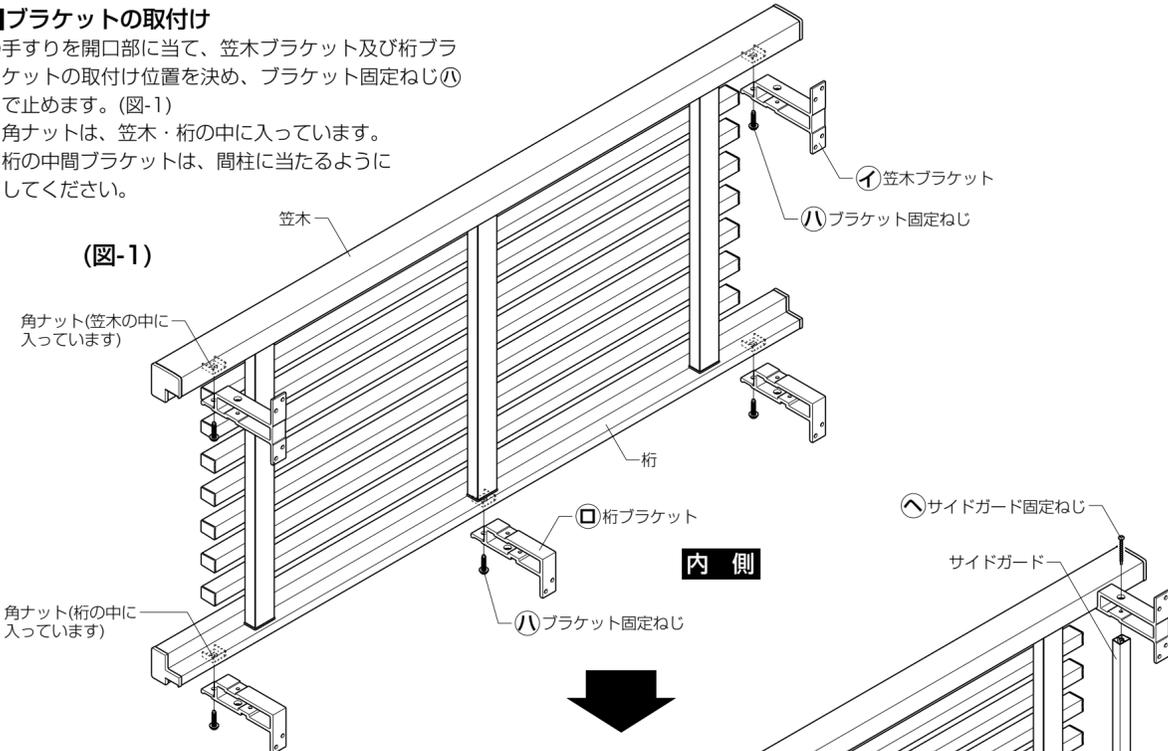
※取付けの前に部品の入数を確認してください。

記号	①	㊦	㊨	㊩	ホ	㊫
姿図						
名称	笠木ブラケット	桁ブラケット	M6×16ナベ小ねじ(Wセムス)	φ5×65ナベタッピンねじ(1種)	M4×12トラス小ねじ	φ4×30トラスタッピンねじ
入数	2個	3個	5本	14本	3本	4本

### ■取付け順序

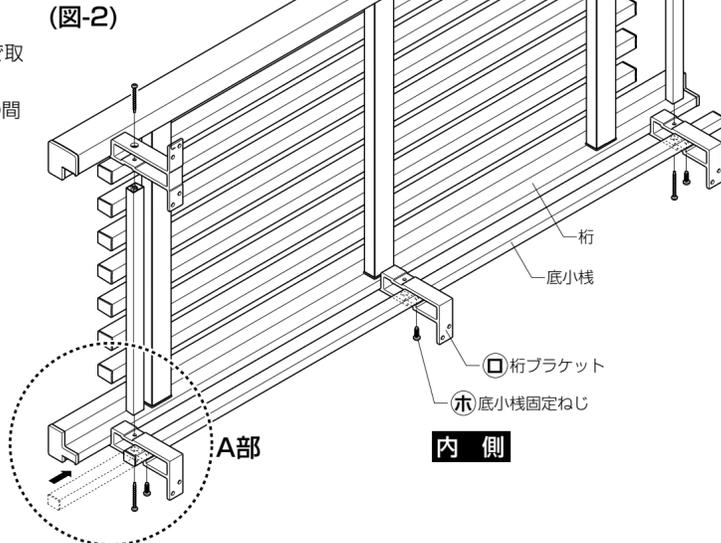
#### 1 ブラケットの取付け

- 手すりを開口部に当て、笠木ブラケット及び桁ブラケットの取付け位置を決め、ブラケット固定ねじ④で止めます。(図-1)
- ※角ナットは、笠木・桁の中に入っています。
- ※桁の中間ブラケットは、間柱に当たるようにしてください。

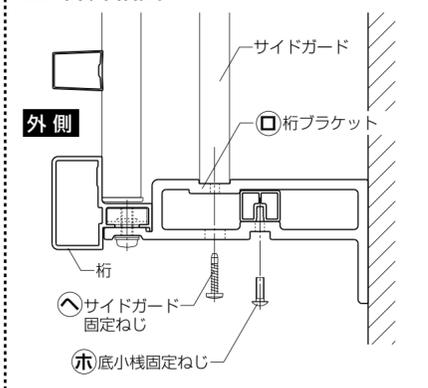


#### 2 底小棧とサイドガードの取付け

- 底小棧を桁ブラケットに通して底小棧固定ねじ⑥で取付けます。(図-2)
- サイドガードを笠木ブラケット及び桁ブラケットの間に、サイドガード固定ねじ⑦で取付けます。

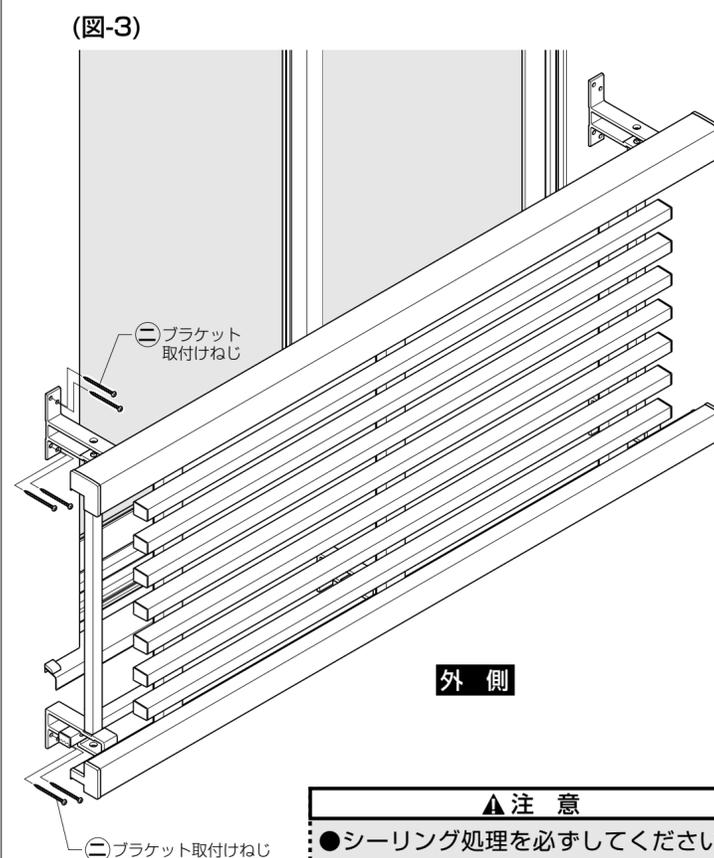


#### ■A部詳細図



#### 3 手すり本体の取付け

- 各ねじ穴位置に下穴をあけ、コーキング材を充てん後、ブラケット取付けねじ②で躯体に確実に取付けます。(図-3)



### ▲注意

- シーリング処理を必ずしてください。